nite

「GHS混合物分類判定ラベル/SDS 作成支援システム(NITE-Gmiccs)」 の操作方法

NITE講座2024 化学物質管理 ~基礎と実務のための関連法規制について~ 2024年12月12日(木) No.5

独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター 情報基盤課

NITE-Gmiccsの説明

- 1. NITE-Gmiccsの概要
- 2. NITE-Gmiccsの利用方法
- ・不足する単一物質(成分)のGHS分類結果の入力 (STEP1)
- ・混合物組成情報の入力(STEP2)
- ・GHS分類の実施と結果の確認(STEP3)
- ・ラベルの出力(STEP4)
- ·SDS様式の出力(STEP5)

NITE-Gmiccsの説明

- 1. NITE-Gmiccsの概要
- 2. NITE-Gmiccsの利用方法
- ・不足する単一物質(成分)のGHS分類結果の入力 (STEP1)
- ・混合物組成情報の入力 (STEP2)
- ・GHS分類の実施と結果の確認(STEP3)
- ・ラベルの出力(STEP4)
- ·SDS様式の出力(STEP5)

1. NITE-Gmiccsの概要



基礎データとして約3,400の単一物質(組成成分)の政府によるGHS分類結果をNITE-Gmiccsへ収載

「政府によるGHS分類結果」 (便宜上NITE分類とします)





分類結果をNITEが整理・統合 (NITE統合版GHS分類)



SDS・ラベルの作成支援のため に政府がGHS分類を実施 約3,400物質



GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支援システム invented by METI GHS Mixture Classification and Label/SDS Creation System

混合物(製品)に含まれる単一物質*1を選択し、含有率を入力すれば危険有害性の分類を判定*2します

「EU:CLP調和分類」



ヨーロッパのGHS分類*3 約4.700物質

- ※1 単一物質のデータがGmiccsに収載されていない(政府によるGHS分類結果がない)場合はユーザーで準備し、Gmiccsに登録する必要があります。 政府によるGHS分類の有無はシステム内で検索又は以下のURL先から確認下さい。 **<NITE統合版GHS分類結果(政府によるGHS分類の最新版を集約)>** https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/ghs/ghs_nite_download.html
- ※2 物理化学的危険性については一部のみの分類がシステムで判定されるため、 必ずユーザー側でロジックを確認してください。 https://www.ghs.nite.go.jp/link/ja/gmiccs ClassificationLogic.html
- ※3 EUのCLP規則、附属書VI表 3 で公表されている有害性物質の分類に関する情報です。



混合物(製品)中でNITE-Gmiccsに収載されていない組成成分のGHS分類結果等はユーザー側で登録する必要があります※



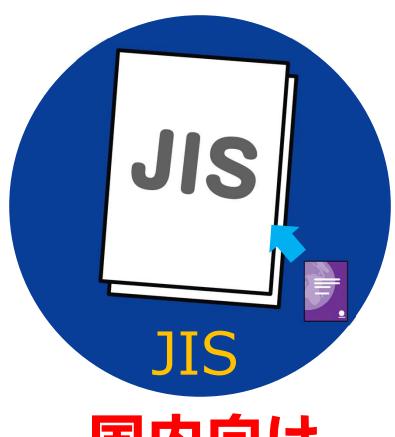
※未登録の組成成分についてはNITE-Gmiccsに登録が必要です。組成成分のGHS分類情報を用意し、NITE-GmiccsのStep1で登録します。成分のGHS分類情報がない場合は、データなし(分類できない)として登録する必要があります。組成成分ごとのGHS分類方法については下記にまとめておりますのでご参照ください。

<GHS分類方法>

https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/ghs/ghs_classification.html



NITE-Gmiccsでは2つのGHS分類判定方法が選択できます



国内向け

国連GHS文書(改訂6版)に基づき、日本産業規格(JIS)※1で選択された、濃度限界/カットオフ値、危険有害性項目の区分に基づき分類



海外向け

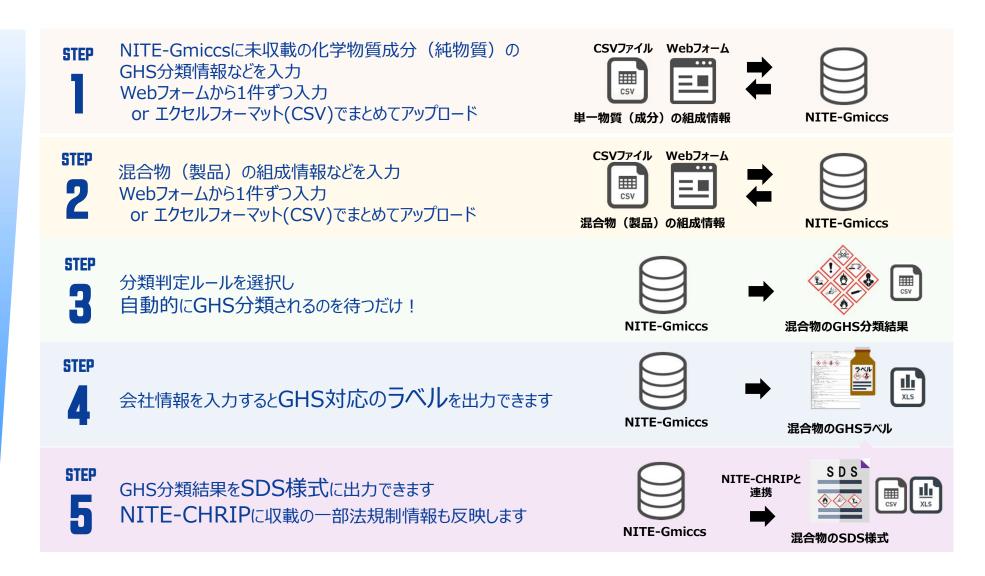
国連GHS文書(改訂6版)*2にて採用されている濃度限界/カットオフ値のうち小さい値及び危険有害性項目における全ての区分を採用し分類

※1 JIS Z 7252「GHSに基づく化学品の分類方法」

※2 海外では採用されているGHS国連文書の改訂版が異なる場合があります。ご注意下さい。



システムを利用する際の基本的な流れは以下のとおり



NITE-Gmiccsの説明

- 1. NITE-Gmiccsの概要
- 2. NITE-Gmiccsの利用方法
- ・不足する単一物質(成分)のGHS分類結果の入力 (STEP1)
- ・混合物組成情報の入力(STEP2)
- ・GHS分類の実施と結果の確認(STEP3)
- ・ラベルの出力(STEP4)
- ·SDS様式の出力(STEP5)



分類事例となる混合物

混合物ID:Sample1 (半角英数で任意のIDを設定)

混合物(製品)名称:サンプルシンナー

	単一物質(成分)名	含有率 (重量%)	CAS RN	NITE分類の有無 (NITE-Gmiccs収載)	物質ID
1	トルエン	40	108-88-3		m-nite- 108-88-3
2	メタノール	40	67-56-1	\bigcirc	m-nite- 67-56-1
3	酢酸エチル	10	141-78-6	\bigcirc	m-nite- 141-78-6
4	長鎖アルコール	9	_	×	sub1
5	不純物(データなし)	1	_	×	sub2
		100			

物理化学的性質:<mark>物性:液体、引火点:40℃</mark>

混合物(製品) としての物性

混合物(製品) としての引火点

長鎖アルコールのGHS分類(仮)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分2

水生環境有害性短期(急性): 区分2

政府分類が 存在しない成分のGHS分類 を用意





推奨環境(Microsoft Edge)でNITE-Gmiccsを立ち上げ ます



任意の検索エンジンで「NITE GHS」又は「NITE Gmiccs」と検索します



2. NITE-Gmiccsの利用方法





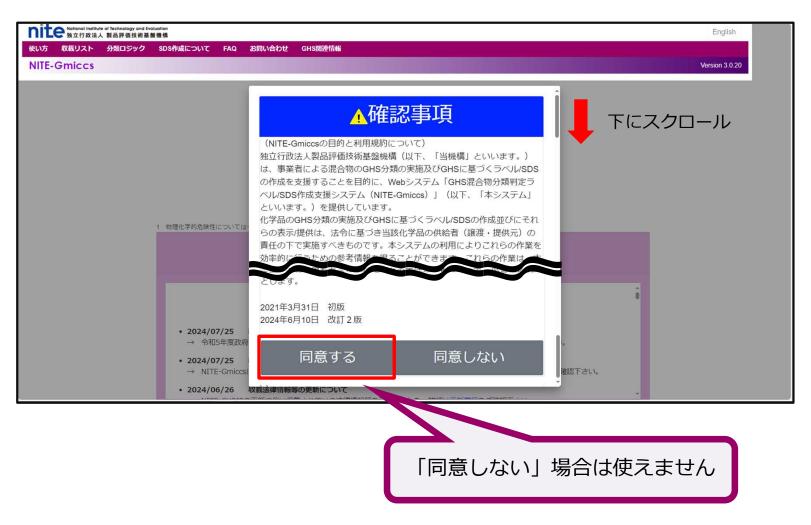
GHS総合情報提供サイト (NITEのWebサイト) https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/ghs/ ghs index.html

GHS混合物分類判定ラベル作成システム(NITE-Gmiccs) https://www.ghs.nite.go.jp/





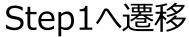
TOPページから「混合物GHSを分類・ラベルを作成する」を選択するとポップアップで確認事項(免責事項)が出てきますので、これをよく読み、「同意する」をクリックしてください



※画面を拡大していると、「同意する」が表示されない場合がございますのでご注意ください。

2. NITE-Gmiccsの利用方法

nite



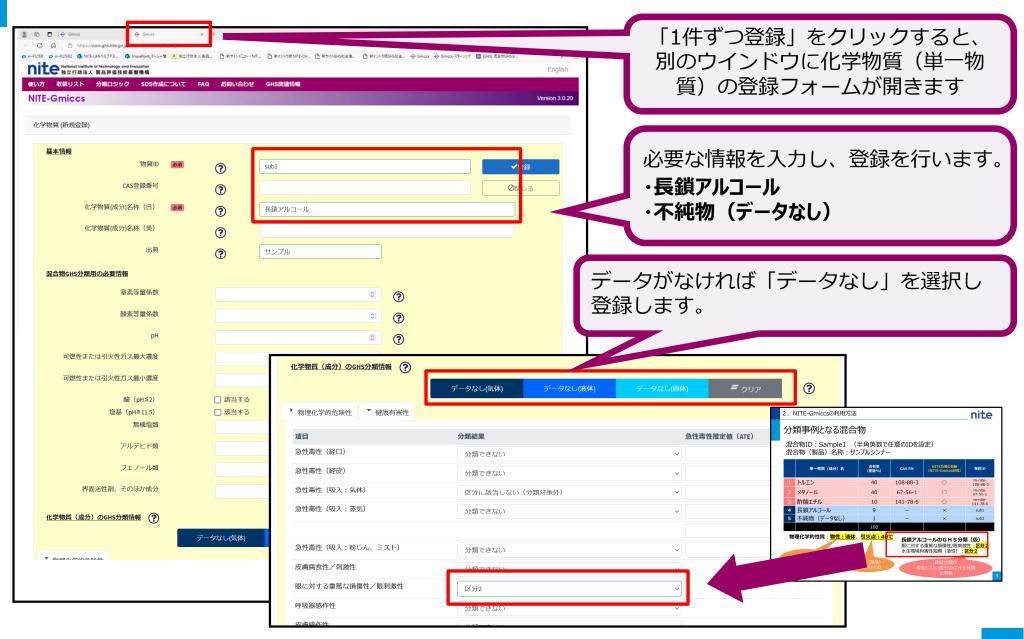
TOPページから「混合物GHSを分類・ラ ベルを作成する」を選択します



「確認事項」が表示されるので 「同意する」をクリック



収載されていない組成成分のGHS分類結果等の登録(STEP1)





(参考)物質ID、混合物ID使える記号の制限について

●使用不可の記号の例:

¥(円マーク)

/(スラッシュ)

:(コロン)

*(アスタリスク)

?(クエスチョン)

"(ダブルクォーテーション)

′(シングルクォーテーション)

<(左かっこ、不等号)

>(右かっこ、不等号)

|(パイプ)

[(左大かっこ)

](右大かっこ)

% (パーセント)

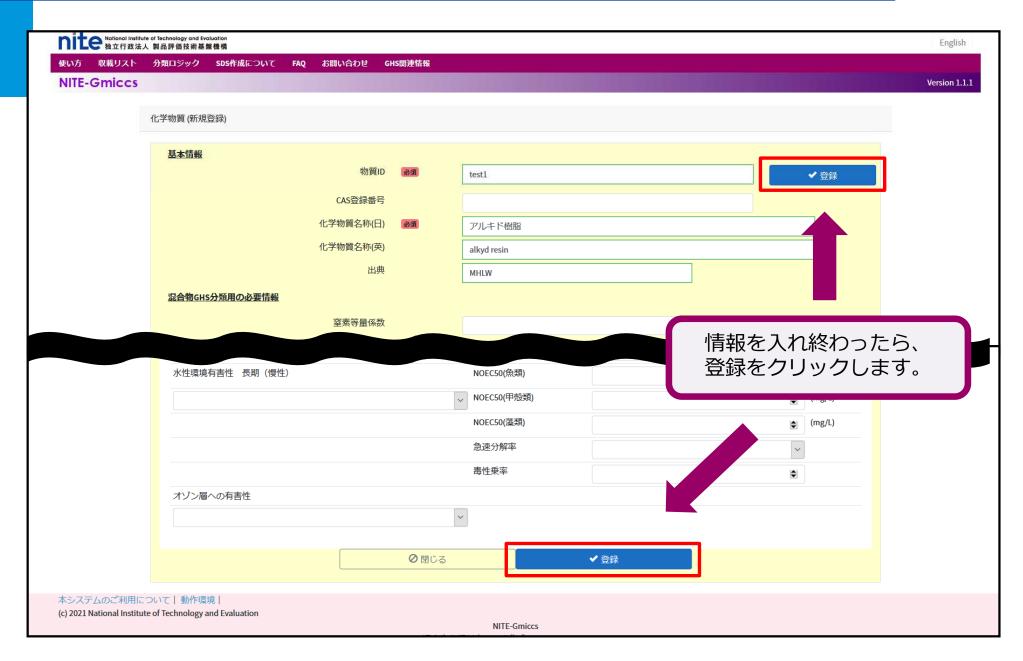
(シャープ)

NITE-GmiccsはWebブラウザ上で作動システムであるため、 一部、ソースコードに影響する可能性のある記号など、 物質IDや混合物IDでに使用できない場合があります。

物質ID及び混合物IDには「半角英数字のみ(スペース、ハイフン、アンダーバーは可)」をご使用ください。



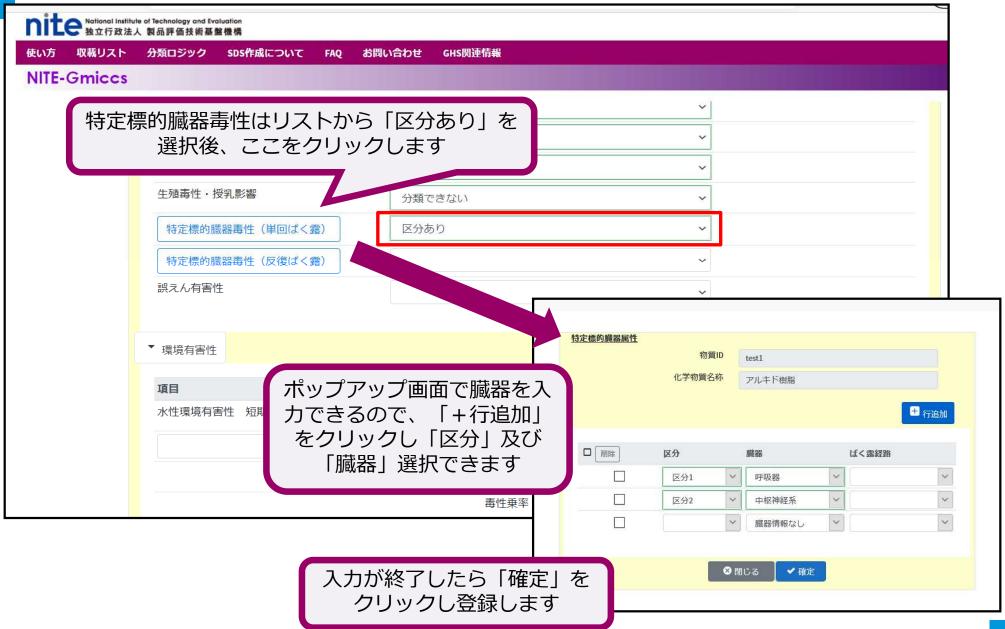




単一物質(成分)のGHS情報の登録

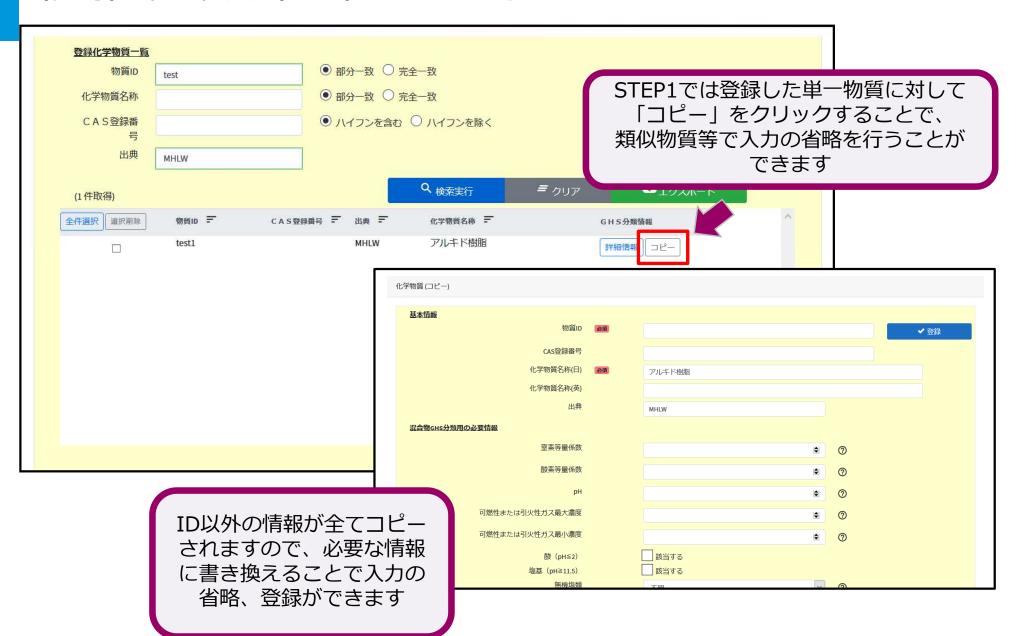


(参考) 標的臓器毒性の入力



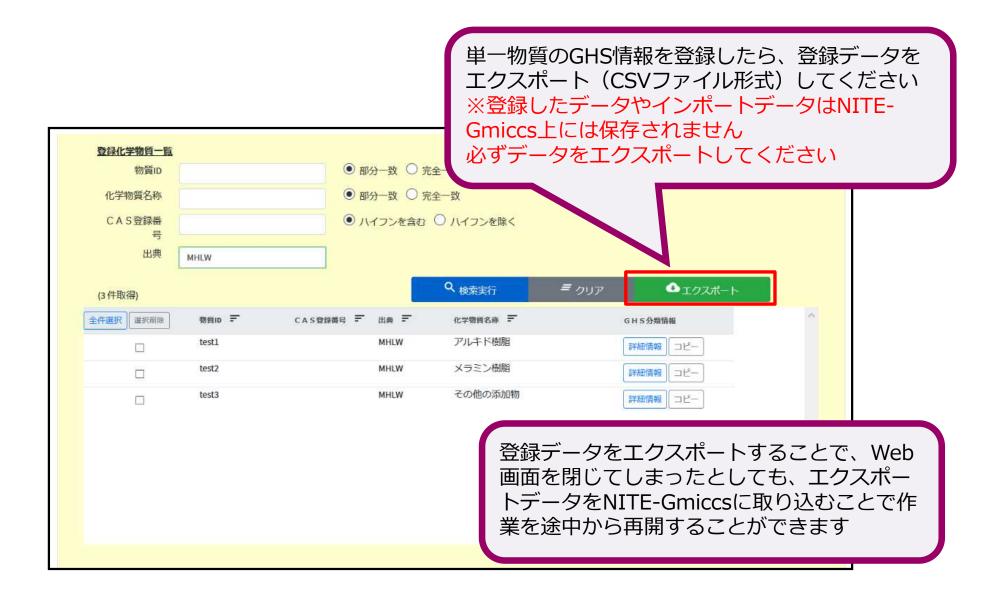


(参考) 単一物質(成分)のコピー登録





単一物質(成分)のGHS登録情報のエクスポート(出力保存)





(参考)CSVファイルのインポート (複数の化学物質(成分)情報(STEP1)を例として)



エクスポートファイルではなく、 1からCSVファイルを作成する場合は テンプレートをご利用ください

1行が1つの化学物質情報に対応します

STEP1でインポートする CSVファイルは1ファイルで 複数の化学物質(成分) 情報の入力が可能※

※STEP2では1ファイルで複数の混合物(組成) 情報が入力可能。

STEP4、5でインポートできるファイルは1ファイル 1混合物が入力される。





(参考)CSVファイルのインポート (複数の化学物質(成分)情報(STEP1)を例として、続き)

STEP1, 2についてはテンプレートへの記載例を「使い方」のページに掲載しているので、ご参照ください。



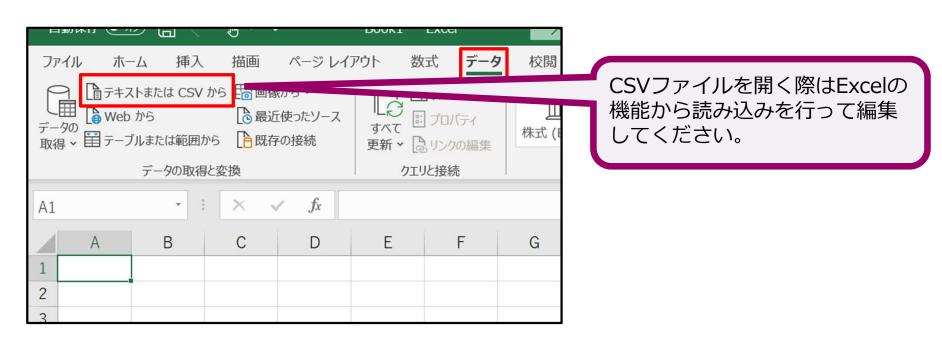
STEP1のインポートファイル記載例

STEP2のインポートファイル記載例



(参考) CSVファイルのインポート(CSVファイルの編集方法)

CSVファイルはExcelで開いて編集が可能ですが、 ファイルのダブルクリックなど開くとCAS登録番号が日付認識されるなどの エラーが起こりやすいです。



CSVファイルの編集の詳細は下記をご参照ください。

「インポート/エクスポートファイルの修正方法について」:

https://www.ghs.nite.go.jp/link/ja/contents/gmiccs File Correction manual 20210401.pdf

NITE-Gmiccsの説明

- 1. NITE-Gmiccsの概要
- 2. NITE-Gmiccsの利用方法
- ・不足する単一物質(成分)のGHS分類結果の入力 (STEP1)
- ・混合物組成情報の入力(STEP2)
- ・GHS分類の実施と結果の確認(STEP3)
- ・ラベルの出力(STEP4)
- ·SDS様式の出力(STEP5)

2. NITE-Gmiccsの利用方法







混合物基本情報の登録

141-78-6

長鎖アルコールのGHS分類 (仮) 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分2 水生環境有害性短期(急性):区分2

酢酸エチル

4 長鎖アルコール5 不純物(データなし)

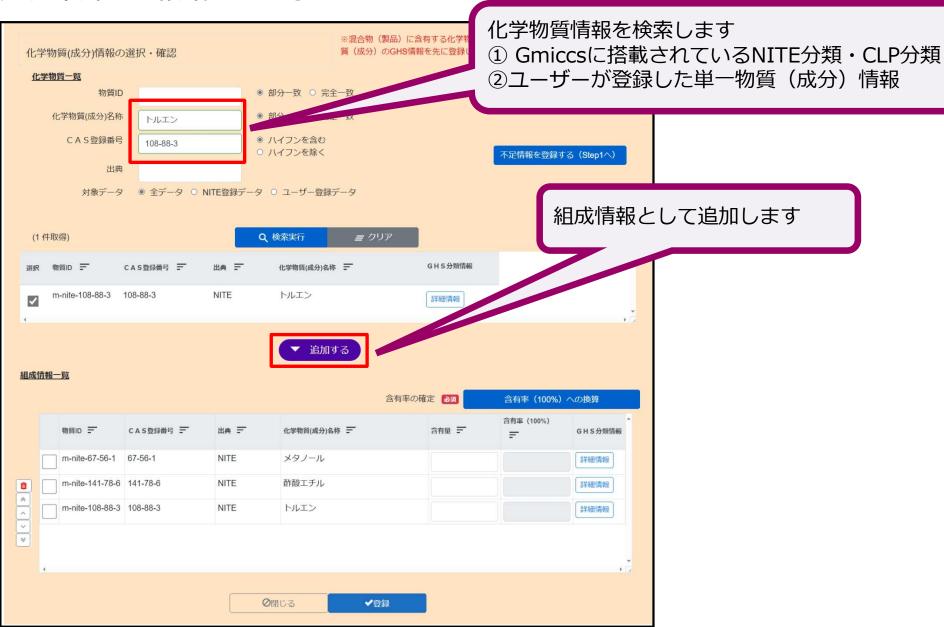
物理化学的性質:<mark>物性:液体</mark>、<mark>引火点:40℃</mark>

「1件ずつ登録」をクリックすると、 別のウインドウに登録画面が出ます



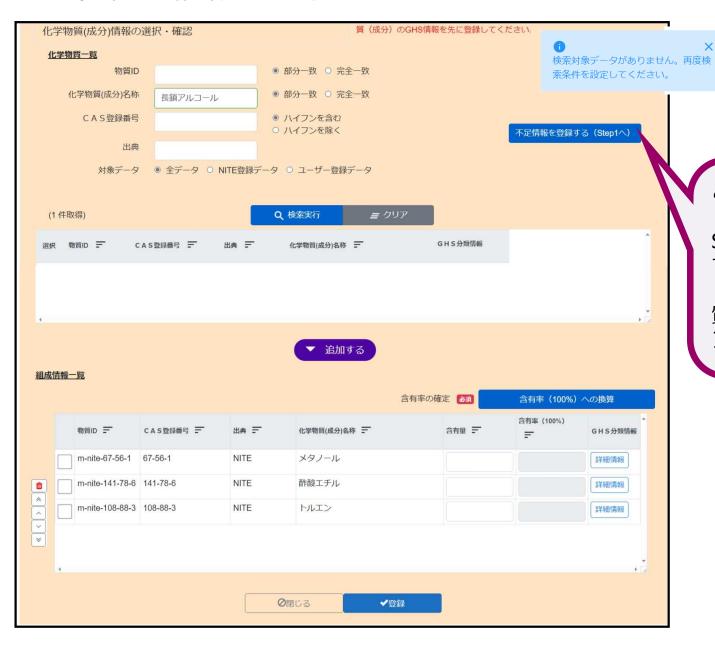


混合物組成情報の登録





混合物組成情報の登録

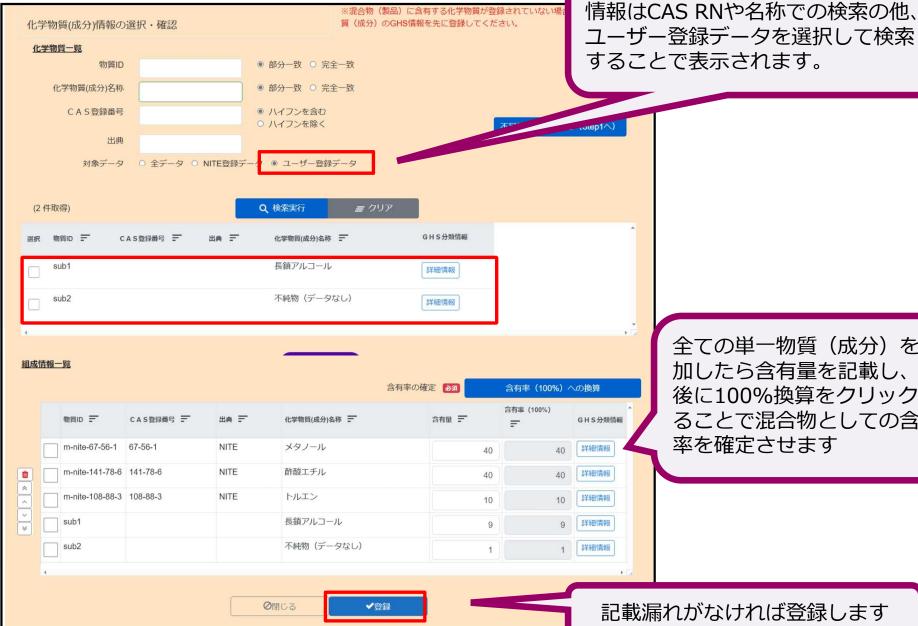


この時点で不足の単一物質 (成分)情報がある場合は Step1に移動して登録しま す。

(別のウインドウに化学物質(単一物質)の登録 フォームが開きます。)



混合物組成情報の登録



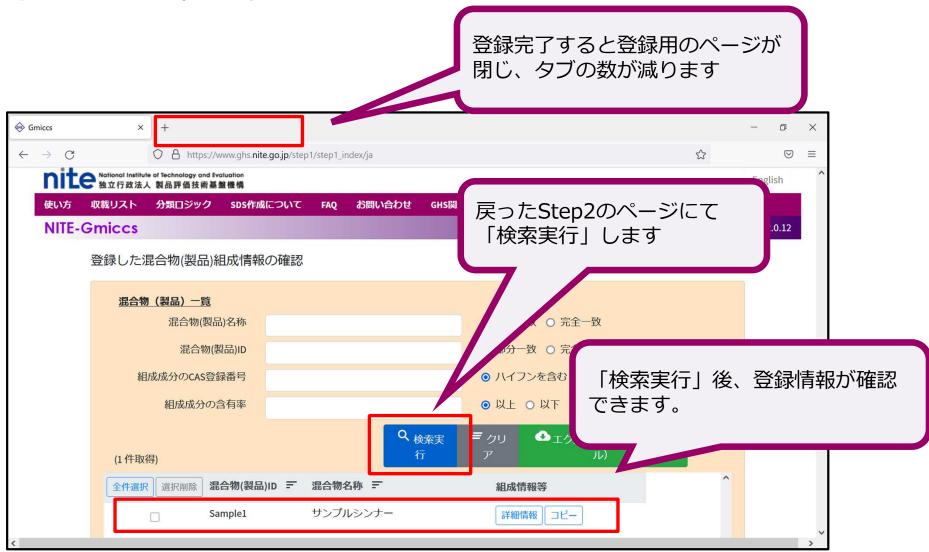
全ての単一物質(成分)を追 加したら含有量を記載し、最 後に100%換算をクリックす ることで混合物としての含有 率を確定させます

記載漏れがなければ登録します

登録した未収載の単一物質(成分)

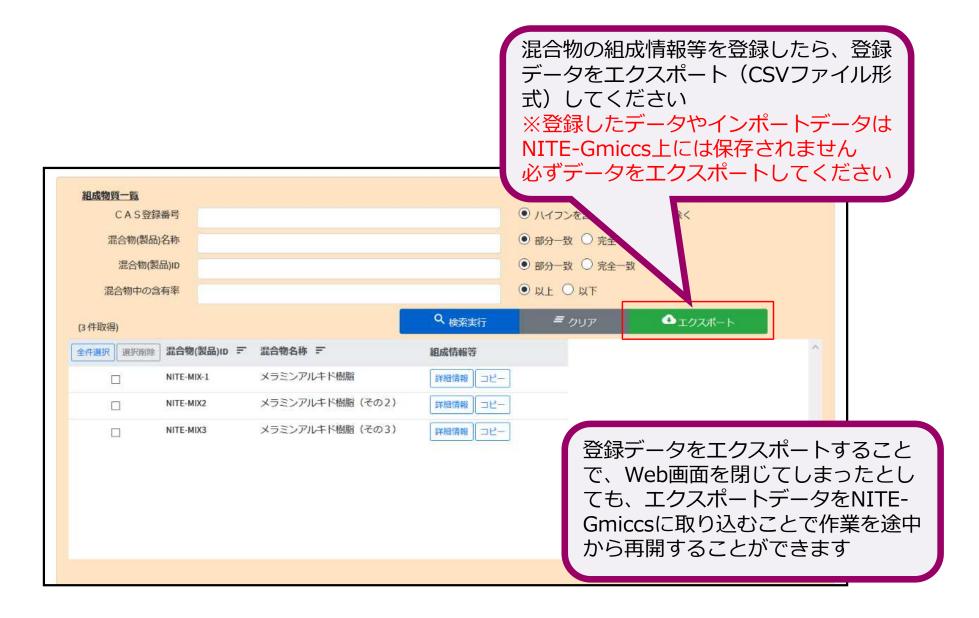


登録された混合物の確認





(参考) 混合物の登録情報のエクスポート (出力保存)



NITE-Gmiccsの説明

- 1. NITE-Gmiccsの概要
- 2. NITE-Gmiccsの利用方法
- ・不足する単一物質(成分)のGHS分類結果の入力 (STEP1)
- ・混合物組成情報の入力 (STEP2)
- ・GHS分類の実施と結果の確認(STEP3)
- ・ラベルの出力(STEP4)
- ·SDS様式の出力(STEP5)

2. NITE-Gmiccsの利用方法





−γite

混合物のGHS分類実行

必要に応じて分類ルールを 変更します(デフォルトはJIS)



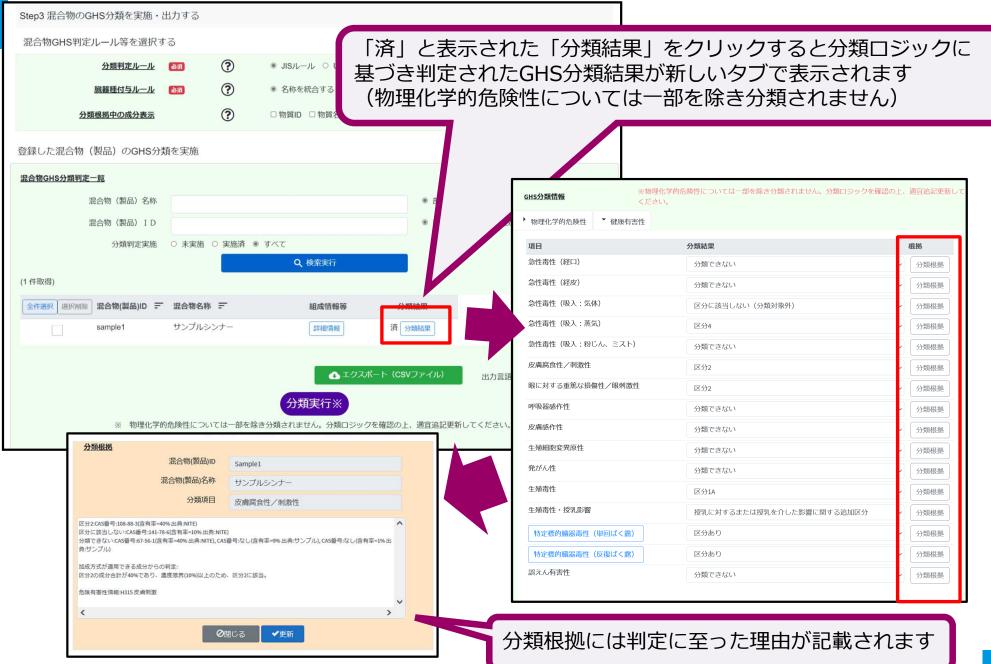
分類根拠中にID、名称の表示する か選択します。(デフォルトは空 欄で、CAS RNのみ表示)

Step3を開くとStep2で登録した混合物(製品)が表示されています

「分類実行」をクリックします



混合物のGHS分類結果の確認



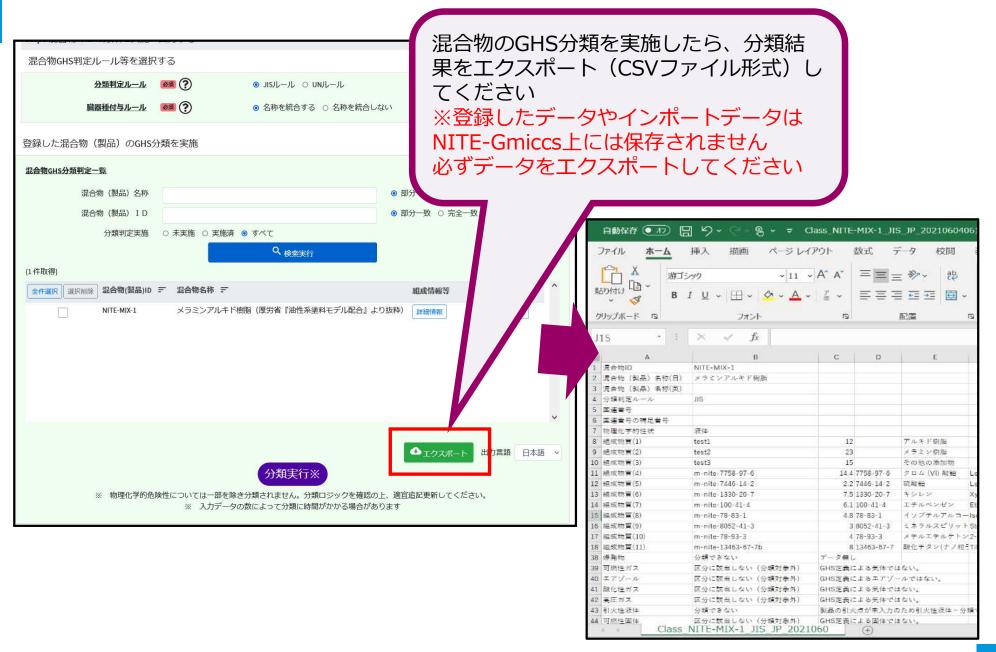


混合物のGHS分類結果の確認

	サンプルシンナー			
CAS RN(CAS登録番号)	_			
ID	Sample1			
引火性液体	区分3			
急性毒性(経口)	分類できない			
急性毒性(経皮)	分類できない			
急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない(分類対象外)			
急性毒性(吸入:蒸気)	区分4			
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類できない			
皮膚腐食性/刺激性	区分2			
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2			
呼吸器感作性	分類できない			
皮膚感作性	分類できない			
生殖細胞変異原性	分類できない			
発がん性	分類できない			
生殖毒性	区分1A: 授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分			
特定標的臓器(単回ばく露)	区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)、区分3(気道刺激性、麻酔作用)			
特定標的臓器(反復ばく露)	区分1(中枢神経系、視覚器、腎臓)			
誤えん有害性	分類できない			
水生環境急性有害性 短期(急性)	区分2			
水生環境急性有害性 長期(慢性)	区分3			
オゾン層への有害性	分類できない			



(参考) 混合物のGHS分類結果のエクスポート(保存出力)



NITE-Gmiccsの説明

- 1. NITE-Gmiccsの概要
- 2. NITE-Gmiccsの利用方法
- ・不足する単一物質(成分)のGHS分類結果の入力 (STEP1)
- ・混合物組成情報の入力 (STEP2)
- ・GHS分類の実施と結果の確認(STEP3)
- ・ラベルの出力(STEP4)
- ·SDS様式の出力(STEP5)

2. NITE-Gmiccsの利用方法





2. NITE-Gmiccsの利用方法(STEP4)



ラベル要素の確認

Step3でGHS分類を行った混合物(製品)が一覧に表示されます

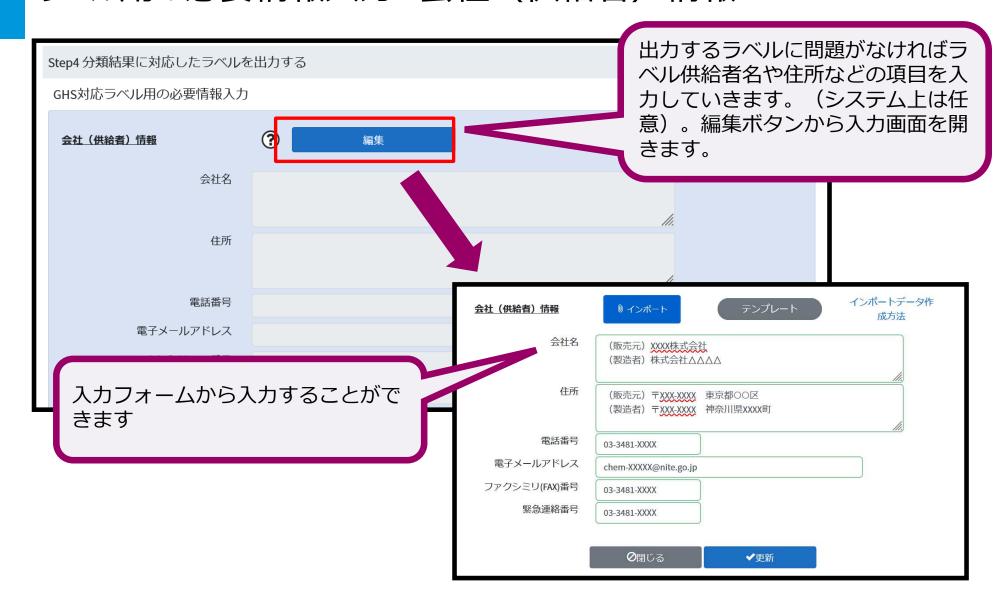


「ラベル要素」をクリックすると、別のウインドウにラベル要素として印字される内容が表示されます





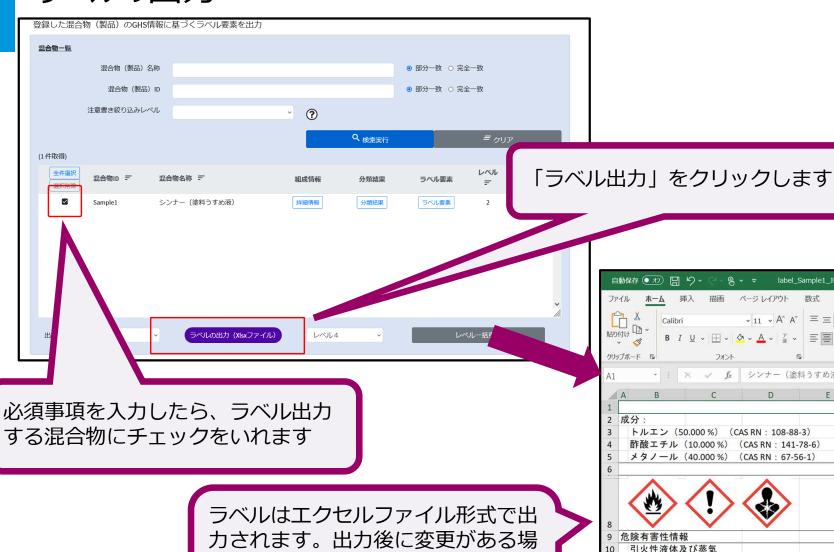
ラベル用の必要情報入力 会社(供給者)情報



2. NITE-Gmiccsの利用方法(STEP4)



ラベルの出力



合はExcelファイルで修正してくだ

さい。

: × ✓ fx シンナー(塗料うすめ液) D E F シンナー (塗料うすめ液) 2 成分: トルエン (50.000%) (CAS RN: 108-88-3) 酢酸エチル(10.000%) (CAS RN: 141-78-6) メタノール (40.000%) (CAS RN: 67-56-1) 危険 危険有害性情報 引火性液体及び蒸気 皮膚刺激 12 強い眼刺激 吸入すると有害 呼吸器への刺激のおそれ 眠気又はめまいのおそれ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

Sample1 (+)

ホーム 挿入 描画 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

- 11 - A^ A = = = ≫ - åb 標準

B I U → ⊞ → 🗸 → ¼ → 🚆 → 🗏 ≡ ≡ ≡ 至 至 🖼 → 🚾 → % 🤊 🐭 🚜

NITE-Gmiccsの説明

- 1. NITE-Gmiccsの概要
- 2. NITE-Gmiccsの利用方法
- ・不足する単一物質(成分)のGHS分類結果の入力 (STEP1)
- ・混合物組成情報の入力(STEP2)
- ・GHS分類の実施と結果の確認(STEP3)
- ・ラベルの出力(STEP4)
- ・SDS様式の出力(STEP5)

2. NITE-Gmiccsの利用方法





2. NITE-Gmiccsの利用方法(STEP5)



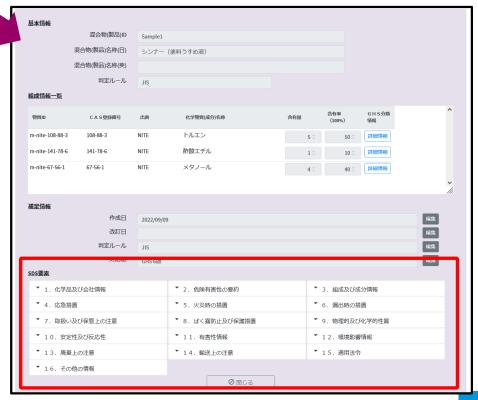
SDS要素の確認

Step3でGHS分類を行った混合物(製品)が一覧に表示されます



「SDS要素」をクリックすると、別のウインドウにSDS要素として出力される内容が表示されます。

「SDS要素」としてGHS/JISで定められた全16項目が表示されます。





SDS要素の確認



各小項目の編集ボタンを選択すると編 集画面がポップアップします。

編集画面で入力し更新することで記載 内容を反映できます。

SDS小項目編集	
混合物(製品)ID	Sample1
混合物(製品)名称	シンナー(塗料うすめ液)
SDS項目	3. 組成及び成分情報
SDS小項目	一般名称
トルエン主成分	ſſ.
	⊘ 閉じる ✓ 更新

2. NITE-Gmiccsの利用方法 (STEP5)



SDS要素の確認



Step3までで行ったGHS分類の結果はSDS要素の各項目に 反映されています。

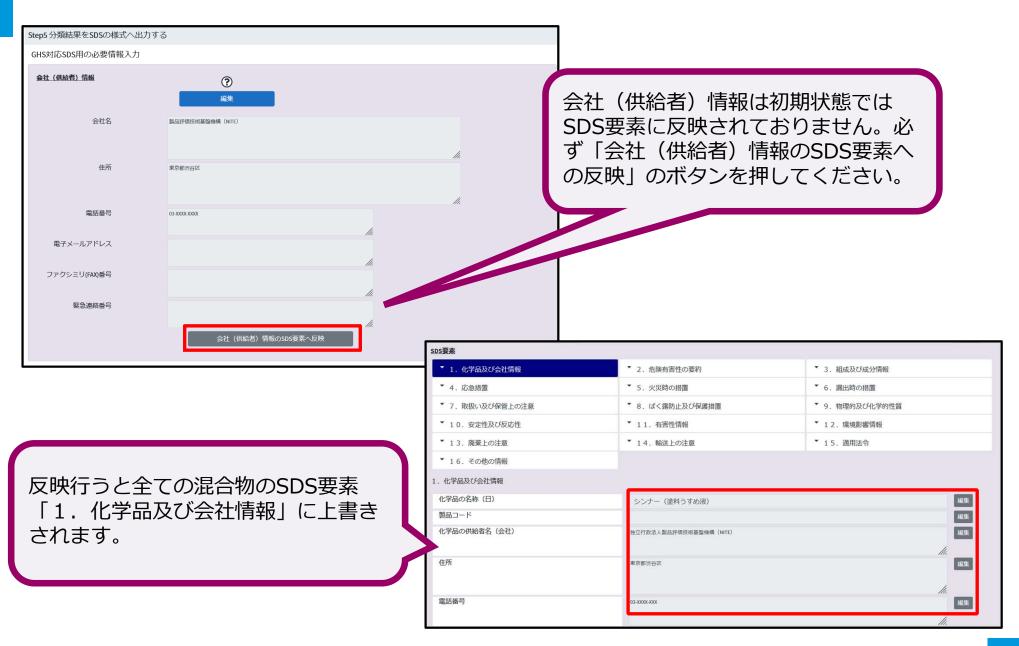
- ➤ GHS分類結果 → 「2.危険有害性の要約」
- ▶ 組成成分の情報 → 「3.組成及び成分情報」
- ▶ 健康有害性の分類根拠 →「11.有害性情報」
- ▶ 環境有害性の分類根拠 →「12.環境影響情報」

※SDSの各項目が自動的に全て埋まるわけではありません。適宜ユーザー自身で必須事項等を記載してください。





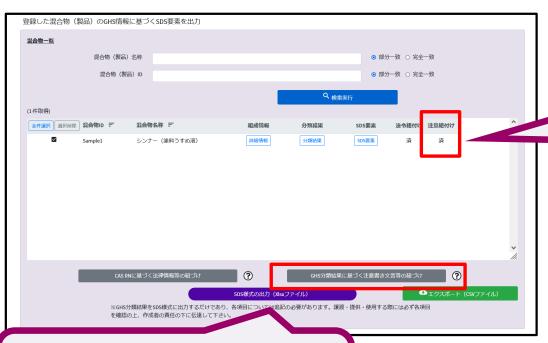
SDS要素へ情報の反映 会社(供給者)情報



2. NITE-Gmiccsの利用方法(STEP5)



SDS要素へ情報の反映 注意書き文言等のSDSへの紐づけ



ラベル要素として求められるGHS の危険有害性区分に割り当てられたGHSが推奨する注意書きのコード(Pコード)に規定されている文言を参考情報としてSDS様式上の各項目に記載できます。

反映させたい混合物を選択し 「GHS分類結果に基づく注意書き 文言等の紐づけ」を実行します。

混合物のGHS分類結果に基づき割り当てられる注意書きのコード(Pコード)がある場合はSDS要素の「4.応急措置」、「5.火災時の措置」、「6.漏出時の措置」等の項目にPコードに紐づく文言を上書きします。

SDS要素				
▼ 1. 化学品及び会社情報		▼ 2. 危険有害性の要約	▼ 3. 組成及び成分情報	
▼ 4. 応急措置		▼ 5. 火災時の措置	▼ 6. 漏出時の措置	
▼ 7. 取扱い及び保管上の注意		▼ 8. ばく露防止及び保護措置	▼ 9. 物理的及び化学的性質	
* 10. 安定性及び反応性		▼ 11. 有害性情報	▼ 12. 環境影響情報	
▼ 13. 廃棄上の注意		▼ 14. 輸送上の注意	▼ 15. 適用法令	
▼ 16. その他の情報				
7. 取扱い及び保管上の注意				
取り扱い 技術的対策	使用前に取扱説	明書を入手すること。	_	羅集
取り扱い 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 安全取扱注意事項 妊娠中及び授利期中は接触を避けること。				編集
取り扱い 接触回避	熱、高温のもの	、火花、裸火及び他の着火漉から遠ざけること。禁煙。	li.	嘉集



(参考) SDS要素に上書きされる注意書き (Pコード) について

混合物のGHS分類結果に 基づき注意書きの文言 (Pコード)を右図に従って SDSの各項目に出力します。



記載内容はラベルと同じです

GHS/JISで定められた 注意書きコードの種類	該当するPコード	SDS要素 出力項目
安全対策の注意書きコード	P2XX	7. 取扱い及び保管上の注意 8. ばく露防止及び保護措置 等
応急措置の注意書きコード	P3XX	4. 応急措置 5. 火災時の措置 6. 漏出時の措置
保管(貯蔵)の注意書きコード	P4XX	7. 取扱い及び保管上の注意
廃棄の注意書きのコード	P5XX	13. 廃棄上の注意

※それぞれのPコードで規定する文言をSDS要素のどの小項目に出力するのかについてはNITEで細かく設定を 行っています。詳細についてはNITE-Gmiccsの「使い方」のページに掲載されている以下のファイルをご参照下さい。

【別紙】注意書き文言のSDS上の出力先リスト↓以下参照

NITE-Gmiccs 使い方

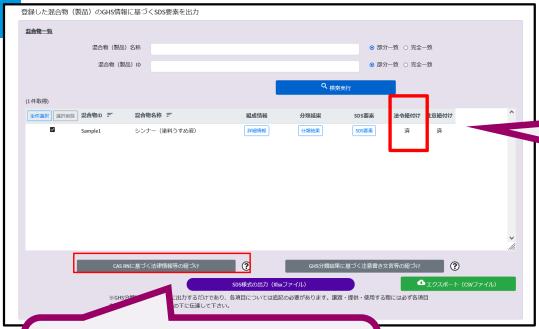
https://www.ghs.nite.go.jp/link/ja/gmiccs_Howtouse.html

■SDS様式への注意書き文言等の出力機能(GHS分類結果に基づくPコードの紐づけ)(Step5機能)

2. NITE-Gmiccsの利用方法(STEP5)



SDS要素へ情報の反映 CAS RNに基づく法律情報等の紐づけ



ラベル要素として求められる適用 法令の方法を参考情報としてSDS 様式上の項目に記載できます。

反映させたい混合物を選択し 「CAS RNに基づく法律情報等の 紐付け」を実行します。

混合物成分のCAS RNに紐付いている 法律情報等※がある場合、 SDS要素 の「15. 適用法令」の項目に法律情 報等が上書きされます。

※NITE-CHRIP掲載情報を参照しています。

▼ 1. 化学品及び会社情報 ▼ 4. 応急措置 ▼ 7. 散扱い及び保管上の注意 ▼ 10. 安定性及び反応性 ▼ 13. 廃棄上の注意		▼ 2. 危険有害性の要約	▼ 3. 組成及び成分情報	* 3. 組成及び成分情報 * 6. 漏出時の措置		
		▼ 8. ばく霧防止及び保護措置	▼ 6. 漏出時の措置			
			▼ 9. 物理的及び化学的性質	9. 物理的及び化学的性質		
			▼ 12.環境影響情報	▼ 12. 環境影響情報		
		▼ 1 4. 輸送上の注意				
* 16. その他の情報						
.適用法令						
的働安全衛生法	ポルムアルテヒド (50,000 %) (CAS RN : 50,000 %) ; ラベル表示・505交付義務対象物質 (別表第00548) [ポルムアルテヒド] ; 特化則 (第二線物質) [オルムアルテヒド]		的質 (別表第90548) 【ホルムアルテヒド】; 特化則 (第二類的質) 【ホルムアルテヒド】	NESE		
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	ホルムアルテヒド (50,000%) (CAS RN: 50,00.0);特定第一種 政令番号(1.464)管理番号(411) 〔ホルムアルテヒド〕			NEE		
等物及び劇物取締法		ホルムアルデヒド(90,000%)(CAS SM:50,000); 法律・創物(法律別表案2のAL) 【バルムアルデヒド】; 渋合・創物(渋合薬3条薬1項薬3件) 【バルムアルデヒドを含有する製 系。ただし、ホルムアルテヒド1%以下を含有するものを抜く。】				
その他の国内法令		除く。)】;大防法・特定物質(政令第10条第5号) [オルムアルデヒド];大防法・有害大気	NEET.			
小国法令等	The state of the s			NEE		
				A NUT		



(参考) NITE-Gmiccsで参照可能なNITE-CHRIPの法規制等の情報

混合物に含まれる組成成分の CAS登録番号がNITE-CHRIPに掲載されている一部 法律リスト(右図)に該当す る場合はSDSの項目に情報を 出力します

NITE-CHRIP

NITE化学物質総合情報提供システム

連携

- ※NITE-CHRIPでは全ての法律対象物質、 全てのCAS登録番号を収載しているわけでは ありません。
- ※各法律における裾切値等は考慮しておりません。

NITE-CHRIPに掲載されている 一部の法律情報等	SDS要素 出力項目	SDS要素 出力小項目
化審法:第一種特定化学物質	15.適用法令	その他の国内法令
化審法:既存化学物質	3.組成及び成分情報	官報公示整理番号(化 審法)
化審法:新規公示化学物質(2011年4月1日以降届出)	3.組成及び成分情報	官報公示整理番号(化 審法)
化審法:新規公示化学物質(2011年3月 31日以前届出)	3.組成及び成分情報	官報公示整理番号(化 審法)
安衛法:名称公表化学物質	 3.組成及び成分情報 	官報公示整理番号(安 衛法)
安衛法:新規名称公表化学物質	 3.組成及び成分情報 	官報公示整理番号(安 衛法)
化管法 (令和5年度分以降の排出量等の把握や令和5年度以降のSDS提供の対象)	 1 5 . 適用法令 	化学物質排出把握管理 促進法 (PRTR法)
毒物及び劇物取締法	15. 適用法令	毒物及び劇物取締法
安衛法:表示対象物、通知対象物	15. 適用法令	労働安全衛生法
安衛法:特定化学物質障害予防規則	15. 適用法令	労働安全衛生法
大気汚染防止法	15. 適用法令	その他の国内法令
水質汚濁防止法	15. 適用法令	その他の国内法令
土壌汚染対策法	15. 適用法令	その他の国内法令
日本産業衛生学会:許容濃度	8. ば〈露防止及び保護措置	許容濃度
REACH: 高懸念物質(SVHC)	15. 適用法令	その他の国内法令



(参考) NITE-Gmiccsで参照可能なNITE-CHRIPの法規制等の情報(続き)

STEP5の法規制情報の紐付け機能では、法規制情報などはCAS登録番号に基づいて NITE-CHRIPの情報が参照されますが、法律上の閾値や適用除外については考慮されません。実際の該非についてはユーザー自身で確認が必要です。

例) メタノール (CAS RN:67-56-1)

毒劇法:原体のみが対象

安衛法:表示の対象となる範囲(重量%) ≥ 0.3

通知の対象となる範囲(重量%) ≥ 0.1

労働安全衛生法	エチルベンゼン (15.385%) (CAS RN: 100-41-4); ラベル表示・SOS交付義務対象物質 (別表第9の70) [エチルベンゼン]; 特化則 (第二頭物質) [エ チルベンゼン] キシレン (15.385%) (CAS RN: 1330-20-7); ラベル表示・SOS交付義務対象物質 (別表第9の136) [キシレン] クロム (N) 破鉛 (7.692%) (CAS RN: 7758-97-6); ラベル表示・SOS交付義務対象物質 (別表第9の142) [クロム及びその化合物]; ラベル表示・SOS交付義務対象物質 (別表第9の141) [指200千の他合物]; ラベル表示・SOS交付義務対象物質 (別表第909191) [酸化チタン(1 V)] 地設治 (15.385%) (CAS RN: 1746-14-2); ラベル表示・SOS交付義務対象物質 (別表第909191) [酸化テタン(1 V)] 地設治 (15.385%) (CAS RN: 7446-14-2); ラベル表示・SOS交付義務対象物質 (別表第90747) [ブタノール] メチルエチルケトン (15.385%) (CAS RN: 78-93-3); ラベル表示・SOS交付義務対象物質 (別表第90570) [メチルエチルケトン]
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	エチルベンゼン (15.385%) (CASRN:100-41-4);第一種 数令番号 (1-073) 管理番号 (53) 【エチルベンゼン】 キシレン (15.385%) (CASRN:1330-20-7);第一種 数令番号 (1-103) 管理番号 (80) 【キシレン】 クロム (W) 競招 (7.692%) (CASRN: 778-97-6);将定第一種 数令番号 (1-112) 管理番号 (88) 【六億クロム化合物】;特定第一種 数令番号 (1-1353) 管理番号 (89) 【独及びその化合物】 就統治 (15.385%) (CASRN:7446-14-2);特定第一種 数令番号 (1-353) 管理番号 (697) 【鉛及びその化合物】
毒物及び劇物取締法	キシレン (15.385%) (CAS RN: 1330-20-7) ; 改令・劇物 (改令第2条第1項第23号の4) [キシレン] メチルエチルケトン (15.385%) (CAS RN: 78-93-3) ; 改令・劇物 (改令第2条第1項第98号の13) [メチルエチルケトン] グロム (VN) 随船 (7.692%) (CAS RN: 7758-97-6) ; 改令・劇物 (改令第2条第1項第26号) [グロム酸塩類及びごれを含有する製剤。ただし、グロム酸鉛 7 0%以下を含有するものを除く。] ; 改令・劇物 (改令第2条第1項第77号) [鉛化合物。ただし、次に掲げるものを除く。イ 回酸化三鉛、ロ ヒド ロキシ次酸核、八 破機鉛]



医薬用外劇物

2. NITE-Gmiccsの利用方法(STEP5)



SDS要素の出力 xlsxファイル



必須事項を入力したら、SDS様式出力する混合物にチェックをいれます

「SDS様式の出力」をクリックします

SDS様式は人が可読しやすいエクセルファイル形式で出力されます。必要があれば内容を編集してください。





(補足) NITE-GmiccsのTopページ



TOPページの上帯には各種説明等掲載しています。ご参照ください。

- <使い方: NITE-Gmiccsの概要等を掲載しています>
- ✓ NITE-Gmiccsの概要と使い方事例
- <分類ロジック:分類判定方法についての説明を記載しています>
- ✓ NITE-Gmiccs分類ロジック

2. NITE-Gmiccsの利用方法(分類事例2)



混合物(製品)名称:サンプル2

		成分名	含有率 (重量%)	CAS RN	NITE分類 の有無	ID
1	L	ステアリルトリメチルアン モニウムクロライド	60	112-03-8	0	m-nite-112-03-8
2	2	イソプロピルアルコール	25	67-63-0	\bigcirc	m-nite-67-63-0
3	3	ヘキサデシルトリメチル アンモニウム=クロリド	5	112-02-7	0	m-nite-112-02-7
4	4	水	10	7732-18-5	\bigcirc	m-nite-7732-18-5
		合計	100			1

水をデフォルトで収載

混合物の分類結果

急性毒性(経口):区分4

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激:区分1

生殖毒性:区分2

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分1

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1

水生環境有害性 短期(急性):区分1 水生環境有害性 長期(慢性):区分1









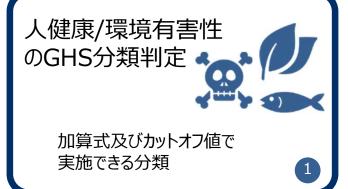
(中枢神経系、全身毒性)、区分3(気道刺激性)

(血液系)、区分2(脾臓、呼吸器、肝臓)

注意事項



NITE-Gmiccsできる事



"一部"の物理化学的 危険性のGHS分類判定



可燃性ガス、酸化性ガス、引火性液体はデータ次第 残りの項目は国連番号から類推

2

分類結果及びラベルの 日英対応 English

データの日英変換を自由に 英語での作業入力も可能

3

大量のデータを 入出力



複数の混合物(製品)情報や 単一物質(成分)情報をCSV で入出力

4)



NITE-Gmiccsできない事

化学物質"単体"の分類

混合物ではない単一物質の分類機能は設けていません



GHS改訂6版以外の ルールによる分類

国連GHS文書改訂6版 以外のルールによる分類は 実行不可 日英以外の言語は非対応



SDSの全項目の記載

SDS様式機能で出力したものを、そのまま完成したSDSとして使用することはできません必ず追記の必要があります



データがない物質の分類

Gmiccsに登録されていない組成成分はユーザーが登録しないと分類ができません



システム上にデータ保存

- システム上にデータは保存されません
- ①混合物組成情報
- ②単一物質情報
- ③分類結果、ラベル・SDS様式
- は登録・実行後にエクスポートして下さい





NITE-Gmiccsから出力される結果について

【政府によるGHS分類結果(NITE統合版) 及びNITE-Gmiccsで判定される結果】

- ·政府によるGHS分類結果(NITE統合版)はラベルやSDSを作成する際の参考分類(※)
- ·NITE-Gmiccsで判定される結果はラベルやSDSを作成する際の参考結果(※)
- ・最も優先されるのは混合物自体の試験データ

※ラベルやSDSの記載内容については、譲渡・提供者の責任において行っていただくことになります。

【NITE-Gmiccsにおける物理化学的危険性の分類判定】

- ・NITE-Gmiccsでは物理化学的危険性について基本的にできません。
- ・判定する場合も"混合物"としてのデータ(引火点、初留点、国連番号)からの判定が基本
- ・基本はシステムで判定されないので、物理化学的危険性はユーザー自身で分類結果に追記が必要



(参考) NITE-Gmiccsの収載データを豊富にするための 汎用物質分類プロジェクトについて

既知のGHS分類情報は少ない

市場に流通する化学品を網羅するには程遠い



SDS・ラベルの作成支援のた

官民連携GHS分類情報収集プロジェクト

https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/ghs/ghs_govpro.html

めに政府がGHS分類を実施 約3,400物質

「EU:CLP調和分類」



ヨーロッパのGHS分類 約4.700物質 利用先:政府によるGHS分類事業 NITEのHPより公開

対象物質:基本的に政府が選定した物質

収集情報:試験報告書(GLP, non-GLP)

査読付論文の書誌事項、

物質に関する情報

主催者:厚生労働省、経済産業省、環境省、

労働安全衛生総合研究所、NITE





官民連携GHS分類情報収集プロジェクト(官民連携PJ)とは別の新規PJ

⇒ **汎用物質分類プロジェクト**が進行中

利用先: NITE-Gmiccs

対象物質:政府分類がない汎用的な化学物質

収集情報:分類ガイダンスList 1~3にある情報

主催者:NITE

汎用物質の例

- ・炭酸カルシウム【CAS RN:471-34-1】
- ・グリセリン【CAS RN:56-81-5】
- ・塩化ナトリウム【CAS RN:7647-14-5】
- ・ステアリン酸【CAS RN:57-11-4】
- ・クエン酸【CAS RN:77-92-9】
- ・トリス【CAS RN:77-86-1】等

